

Gタイトル	私の見つけた大切なもの
ポーランド語のタイトル	Odnaleziona cenna rzecz
テーマ *	C
名前	ガブリエラ
ポーランド語の名前	Gabriela Kowalska
学校名 *2	ヤギェロン大学
学年	4年生
日本滞在歴	なし

*a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

人生で「何が大切なのか」を初めから知っている人はあまりいないのではないのでしょうか。それが分かるまでに、長い時間がかかったり、大切なものを失ったり、誰かのお陰で思わず発見できたりすることもあります。

日本語を勉強し始めた時は、普通にワクワクしていました。でも知らない事が続々出て来て、次第に心を捕らえられました。例えば、日本語には推量を表す言い方がたくさんあります。～らしい、～だろう、～かねない、～かしらなどです。ポーランド語の代わりにうちで日本語を思わず使ったこともよくあります。例えば、日本語の「お母さん」はポーランド語の「お金」を意味する「kasa」の俗語に音が似ています。だから、全く日本語を知らない母にうっかり「お母さん」と呼んでしまったら、母は怒り出しました。「kasa」、つまりお金が欲しいと思ってしまったのです。

今、日本語を勉強すればするほど、興味がさらに深まります。言うまでもなく、ややこしくなることも多いです。例えばポーランド語と違って、日本語の文は主語が分からないことが多いです。例えば「行きます」と言ったら、私が行くのか、別の人が行くのか、よく分かりません。そして、非常に紛らわしいのは助詞で、特に「は」と「が」の使い分け、または、場面に合わせて敬語を正しく使うのも大変です。驚いたのは、音が全然聞こえないのに、どうして「シーン」としていると言うのでしょうか。これはとても不思議です。然し乍ら、こういう勉強が面倒だとか厄介だとは一度も思いませんでした。ポーランド語とは全く違う考え方が面白いからです。

勉強を始めた時の、普通のワクワクがどんどん膨らんで、私の人生に大きな影響を与えるようになりました。初めは単純に好きという気持ちでしたが、今は、私の人生の大事な部分を占めるようになりました。

私にとって大切なものは何かといえ、それは好きな物を発見できたことです。この世で選ぶことができた色々なことの中から、たった一つの自分に合う進路を見付けるのは容易いことではありません。つまり日本語を発見できたことが、本当に大きな喜びです。でも、その日本語は簡単には自分のものになってくれないので、勉強を積み重ねて、追いかけて続けることも私の喜びなのです。「好きこそ物の上手なれ」という言葉通り大好きな日本語を辛抱強く求め続ければ、きっといつか自分の物になってくれると思います。

Podsumowanie(60-70 słów)

Ludzie troszczą się o wiele rzeczy, te bardzo ważne są niezastąpioną częścią ich życia. Jednakże, żeby zrozumieć czym są, nieraz trzeba przebyć długą drogę. Dlatego to, co jest dla mnie bardzo ważne, to nie tylko spełnienie marzenia, ale przede wszystkim możliwość jego spełnienia. To znaczy, droga, która prowadzi do spełnienia marzenia jest dla mnie bardzo ważna. Samo jego spełnienie, to czekająca na mnie nagroda. Język japoński stał się moim celem i to, co daje mi prawdziwą radość, to codzienne poznawanie go. Teraz, kiedy znalazłam rzecz wyznaczającą mi kierunek, to chcę ją rozwijać w sobie.